

2003

都市ビル環境の目



行事
プログラム

社団法人
福岡県ビルメンテナンス協会

都市ビル環境の日

10月4日「都市ビル環境の日」設定趣旨

コミュニティの快適な環境創造をめざして

都市は人類の生命活動から考えるならば、人々が交流するコミュニティと捉えることができます。

私たちビルメンテナンスは、ビルという構造物を単にメンテナンスするだけでなく、このコミュニティを常に快適な状態に維持しようと努めてきました。ビルで営まれるさまざまなコミュニティこそ都市機能の基盤であり、私たちは、そのコミュニティを安全で衛生的で、快適な環境に創り上げていくことを基本的な目的としています。したがって私たちは、コミュニティの結び付きで形成されてきた都市の環境全般に対しても無関心ではられません。個々のビルの快適環境だけでは、都市環境は

バランスを欠きます。個々のビルが所属する地域の環境を良好にしてはじめて、そのビルが地域コミュニティに存在する意味があると考えます。その積み重ねのなかで都市全体を快適な環境に創り上げ、市民が豊かで住みやすい街として愛することのできる都市に育てていかなければなりません。

私たち社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、自らの仕事が都市との強い結び付きのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目的として、10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、県民に都市の環境づくりをアピールしていきます。

本年度のテーマ

「菌と建物環境衛生」(趣意要旨)

建築物衛生法(ビル管理法)の試行から30余年が経過し、この間に都市ビル環境の衛生水準が著しく向上したことは、私たちビルメンテナンス業にとっても大きな成果でした。しかし、21世紀を迎えた今、成長型経済社会は成熟型経済社会へとパラダイムシフトし、いまや都市機能は地球環境保全という全人類の必要性と相俟って、ストック&リノベーションの考え方に基づく運営へと転移しています。

その一方で、地球温暖化問題・省エネルギー対応の環境配慮型建築物への関心の高まりは、同時に建築物の環境衛生管理における新たな問題も生んでいます。我が国の建築物環境衛生管理基準の見直しなどは、この社会状況の変化に対応したものといえるでしょう。例えば、空気環境管理においては、従来は浮遊粉塵・一酸化炭素・炭酸ガス・気温・相対温度および気流が基本的な管理基準項目でしたが、レジオネラ属

菌・アレルギー疾患のアレルゲン・過敏性肺炎の素因・結核菌などの生物由来の汚染物質に対する観点も強化されました。また、ホルムアルデヒドやタバコの受動喫煙など化学物質空気汚染による健康への影響も配慮されています。その他、給排水においてもクリプトスポリジウム症の予防対策として給排水衛生設備管理の維持適正化が図られています。このように建築物の衛生的環境を確保するうえで、その維持管理システムの適確な運営が最も重要な要件となってきました。これらのシステム性能の向上を促進していく方策として“コミッションング”という手法の導入が検討されていますが、この検証過程においてもビルメンテナンスの蓄積ノウハウの積極的関与が更に望まれます。

私たちは「都市ビル環境の日」シンポジウムを通して、このような課題を検証し、建物の環境衛生の調和を推進していくものです。

2003 都市ビル環境の日

行事内容

シンポジウム

開催日時：平成15年10月3日（金）13：30～16：30

開催場所：九州エネルギー館

テーマ「菌と建物環境衛生」

総合司会 多田有一郎

《株式会社クリーン商会 代表取締役》

- 13：30 **開会挨拶** (社)福岡県ビルメンテナンス協会会長 青木 博志
- 13：35 **来賓挨拶** 福岡県知事 麻生 渡
福岡市長 山崎広太郎
北九州市長 末吉 興一
- 13：50 **基調講演** 熊本大学 工学部 教授 石原 修
- 14：50 **研究発表** (社)福岡県ビルメンテナンス協会 青年部
- 休 憩 ————
- 15：30 **パネルディスカッション**
- パネラー 熊本大学 工学部 教授 石原 修
福岡県保健福祉部生活衛生課営業指導係 技術主査 迎田 恵之
九州医療エコロジー(株) 代表取締役 中村 和裕
九州美装(株) 常務取締役 古賀 修
コーディネーター (株)朝日ビルメンテナンス 代表取締役社長 金子 誠
- 16：30 **閉会挨拶** (社)福岡県ビルメンテナンス協会 副会長 古賀 修

クリーンアップ福岡

日 時：平成15年10月3日（金）10：30～12：00

場 所：福岡県下主要都市中心部及び会員受託物件の周辺

行 事：公共施設の清掃及びゴミ収集



(社)福岡県ビルメンテナンス協会 会長
青木 博志

責任の重さを認識し、 住みよい街づくりに貢献

福岡県のご後援を賜り、1995年より毎年行って参りました「都市ビル環境の日」の行事も今年で9回目を迎えさせていただきますが、これも偏に福岡県をはじめ関係行政及び関係団体の皆様のご指導、ご協力の賜物だと衷心より感謝申し上げます。

本年も県内各地で「クリーンアップ福岡」を展開し、街の美化運動を行い、また、シンポジウムではテーマを「菌と建物環境衛生」とし、菌による影響を考えます。

今年の前半は世界中が「SARS」の脅威に曝され、公衆衛生は勿論、貿易経済面にも深刻な影響を与えたこと、また、国内にあってはレジオネラ属菌などが問題になりましたことは記憶に新しいところであります。

「都市・ひと・自然」を考えることを目的とし、我々の仕事は都市と深い結びつきのあることを踏まえ、住みよい街づくりに貢献していくことを目指して、我々が出来ることを探していきたいと考え、本行事を行っているところでございます。

昨年、建築物衛生法の一部改正が行われ、空調用ダクトの清掃、排水管の清掃また空気環境測定でのホルムアルデヒドの量の測定など、環境確保に関する項目が追加されましたことは我々の業務の中での建築物の衛生的環境の確保に対し、さらなる維持適正化を図る必要があるものと受け止めております。

このように人の健康・生命に係る仕事の中で、その責任の重さを十分に認識し、今後とも安全確保に全力を尽くして参りたいと考えております。

皆様方には今後ともご指導、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後に今日まで本行事に積極的に参加頂きご支援頂きました会員皆様に心より謝意を表する次第でございます。



福岡県知事
麻生 渡

時宜を得た 有意義なシンポジウムの成果に 期待します

「2003都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会は、昭和54年の設立以来、建築物の衛生的環境や安全性の確保を目指して、関係業者の指導育成などにご尽力され、快適な都市環境づくりにその成果を収めてこられました。これもひとえに、協会の皆さまの熱意とご努力のたまものと心から敬意を表します。

現代のビルは、社会経済の発展や人々の生活様式に対応して大型高層化、複雑化するなど、著しく変ぼうを続けています。また、装備されている最先端の設備や情報システムなどの機能は、非常に高度化・複雑化しており、これに伴い、ビル内で長時間を過ごす人たちの快適で衛生的なビル環境の確保は、大変重要な課題となっております。

このような中、貴協会は全国に先駆けて、平成7年から10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、毎年、建築物におけるさまざまな問題を取り上げ、自ら研さんを行うとともに、県民の建築物衛生環境への意識向上に貢献されてこられました。また、会員をはじめ、多くの方々の参加を得て公共の場の一斉清掃を行う「クリーンアップ福岡」を実施するなど、より快適な都市の環境づくりに広く努めてこられました。

今年の「菌と建物環境衛生」をテーマとしたシンポジウムの開催は、入浴設備・空調設備・給湯設備といった人工的な水環境におけるレジオネラ属菌による感染症や、人間の新たな驚異となったSARSといった問題を深く考え、対処・解決していく上で、時宜を得た大変有意義なテーマであり、この成果に大きな期待をしています。

福岡県としましては、今後とも県民の安全で快適な暮らしのある住みよいまちづくりを積極的に推進して参ります。

記念行事のご成功と貴協会の今後のますますのご発展、会員の皆さまのご健勝を心から祈念します。



福岡市長
山崎 広太郎

環境衛生行政への 日頃からの 貢献に深く感謝します

「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会の皆さまには、日頃から本市の環境衛生行政の推進に多大なご尽力をいただき、また、都市ビル環境の日には、毎年「クリーンアップ福岡」として公共の施設の清掃・美化に取り組んでいただき、深く感謝を申し上げます。

さて、多数の人が利用・使用する建築物における細菌等の汚染防止につきましては、冷却塔が原因となったレジオネラ症の集団発生をきっかけに注目され、新型肺炎(SARS)の出現によりさらに注目度を高めております。また、今年の4月には建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行令及び施行規則が改正され、細菌により室内の空気が汚染されないよう措置を講ずることが義務づけられたところであります。ところが、近年の建築物は、高気密化や省エネルギー化が進み、細菌等の増殖に適した条件が揃いやすく、その対策のための維持管理が容易でない状況にあります。このような中、今回、貴協会が「菌と建物環境衛生」をテーマに取り上げられたことは、まことに時期を得たものであります。

福岡市におきましても、都市化の更なる進行により大型建築物は増え続けており、市民の健康を守るために建築物の細菌等による汚染防止に取り組んでいくことは、非常に重要なことと考えております。このため、今回の都市ビル環境の日の成果に大きな期待を寄せるとともに、今後とも、貴協会の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、(社)福岡県ビルメンテナンス協会のご発展と、会員の皆さまのご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。



北九州市長
末吉 興一

快適な都市環境の 創造に向けた、より一層の貢献に 期待します

「都市ビル環境の日'03」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

(社)福岡県ビルメンテナンス協会の皆さまには、昭和54年の創立以来、建築物の快適な環境と安全性を確保するため、関係業界の指導育成にご尽力をいただき、多大な成果を収められています。また、毎年都市ビル環境の日には、クリーンアップ福岡キャンペーンを展開され、会員の皆さまによる公共の場所の清掃・美化に取り組んでいただき、感謝申し上げます。

香港の高層集合住宅におけるSARS発生や、国内でのレジオネラ症によって、建築物の給排水設備や冷暖房設備などに対する衛生管理の重要性が世界各国でクローズ・アップされています。このような時に、建築物の環境衛生管理上の課題を検証するため、「菌と建物環境衛生」をテーマとしてシンポジウムを開催されることは、大変意義深いことだと考えます。

今年、市制40周年を迎えた北九州市では、市民の皆さまに文化活動に触れていただき、次世代の文化を創造する子ども達に心の豊かさを育んでもらうため、「文化創造北九州」を基本テーマとし、多彩な事業を行っています。こうした中で、複合文化施設「リバーウォーク北九州」や門司港レトロ地区の中核施設「海峡ドラマシップ」など多くの市民が集まる大型施設がオープンいたしました。皆さまには、これらの施設はもとより、さまざまな場面においてビルメンテナンスという立場から、安全で衛生的な環境を維持し、ひいては快適な都市環境の創造に貢献されることを期待しています。

(社)福岡県ビルメンテナンス協会のみますのご発展と、会員の皆さまのご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

2003 都市ビル環境の日 シンポジウム

基調講演



石原 修

Profile

熊本大学工学部教授。
1945年鹿児島市生まれ。
九州大学工学部建築学科卒。
工学博士。
(社)空気調和、衛生工学会九州支部支部長、日本太陽エネルギー学会理事・副会長、日本環境管理学会理事・九州支部長、九州経済産業局地域エナコロジー・オピニオンリーダー熊本県座長、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP) 学術委員会委員長

略歴

昭和20年(1945年)鹿児島市生まれ
昭和43年(1968年)九州大学工学部建築学科卒業
昭和45年(1970年)九州大学大学院工学研究科修士課程修了
九州大学工学部建築学科助手
昭和50年(1975年)熊本大学工学部講師
昭和54年(1979年)工学博士(九州大学)
昭和55年(1980年)熊本大学工学部助教授
平成3年(1991年)熊本大学工学部教授
平成9年(1997年)~平成13年(2001年)
熊本大学地域共同研究センター長
平成10年(1998年)~平成12年(2000年)
熊本大学産学官連携研究推進機構副機構長

主な研究テーマ

1. 建築における省エネルギー及び太陽エネルギー利用に関する研究
2. ビルの設備計画及びビルの環境管理に関する研究
3. 地域環境情報の可視化に関する研究

パネルディスカッション

【コーディネーター】



金子 誠

Profile

(株)朝日ビルメンテナンス
代表取締役社長
昭和27年生まれ。早稲田大学卒業。
(社)福岡県ビルメンテナンス協会
理事 総務財政委員長・(社)福岡県
ビルメンテナンス協会 青年部顧問・
(社)全国ビルメンテナンス協会
BMネットワーク専門委員・(財)建
築物管理訓練センター九州支部 指導

【パネラー】



石原 修

Profile

熊本大学工学部教授。
1945年鹿児島市生まれ。
九州大学工学部建築学科卒。
工学博士。



迎田 恵之

Profile

福岡県保健福祉部生活衛生課
営業指導係 技術主査
昭和36年大分県生まれ。鹿児島大学
大学院農学研究科卒。獣医師。
昭和63年福岡県入庁。以後、狂犬病予
防、と畜検査業務及び廃棄物業務等
を経て本年度より現所属。



中村 和裕

Profile

九州医療エコロジー(株)代表取締役
昭和31年生まれ。福岡県立浮羽工業高
校卒。昭和41年トヨタ自動車工業
(株)デザイン部入社、昭和52年
(社)福岡医師会臨床センター・成人
病センター入社、平成11年から現職。
特定非営利活動法人九州HACCP協
会会員、産業・特別管理産業廃棄物収
集運搬業 NTBシステムコーポレーシ
ョン企画研究室長



古賀 修

Profile

九州美装(株) 常務取締役
昭和26年生まれ。早稲田大学卒業。
(社)福岡県ビルメンテナンス協会
副会長
(社)全国ビルメンテナンス協会
中央講師
(財)建築物管理訓練センター 講師

Kindaikaするビル環境への取り組み

(社)福岡県ビルメンテナンス協会 青年部

青年部では、今後ますます近代化（或いは菌代化）する建築物において、我々の業界はどういった取り組みをするべきかを考え、まず第一に建築物から発生する菌を知り、その菌が人や環境にどのような影響（害）を与えるのかを知った上で、その影響を削減・減少させる方法を調査していこうと考えました。

しかし、調査していくにつれ、菌の種類も多く、その名を聞いても初めて聞くものばかりであり、また、影響として建築素材を劣化させ、人間の健康に多大の被害を引き起こしていることは理解できても、その範囲は余りにも広く深く、これに対する策についても、いまだ勉強中で、今回の発表においては、その過程のみを発表することしかできません。

ただ、皆さまに分かって頂きたいのは、我々の回りには、建築物内でこんなにも多くの菌が発生し、知らないところで計り知れない影響を及ぼしていることであり、ビルメンとして放ってはおけないということです。

2003 都市ビル環境の日 「クリーンアップ福岡」

継続こそが今後の大きな成果に結びつく

「クリーンアップ福岡」の名称も、県民に随分浸透してきました。業界一丸となり、公益事業として環境事業への取り組みが、社会の中で芽を出しつつあることを実感しております。会員が一つの目標に向かって一致団結する様は、厳しい経済環境の中、何かとギクシャクしがちな現状において、実に感動的で、今後の業界における会員の将来の在り方について示唆を与え

ているようにも思います。

会員におかれましては、今日までの自主的で積極的な参加に感謝申し上げますとともに、協会の取り組みについて今後ともご理解をいただき、「クリーンアップ福岡」の更なるステップアップを図り、発展させていきましょう。継続することにより、木となり、葉が繁り、やがては多くの実を結実させることでしょう。

第8回「クリーンアップ福岡」 スナップショット



会場案内図

九州エネルギー館

〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目13-55
TEL.(092)522-2333



西鉄バス 城南線「南薬院」バス停
下車、徒歩約5分。
西鉄バス 浄水通「九電体育館前」
バス停下車、徒歩約1分。

主催

社団法人

福岡県ビルメンテナンス協会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号 藤田ビル2階
TEL (092) 481-0431 FAX (092) 481-0432

後援

福岡県

協賛

財団法人ビル管理教育センター
社団法人福岡ビルディング協会
社団法人福岡県警備業協会
社団法人福岡県産業廃棄物協会
社団法人福岡県建築士会
日本環境管理学会九州支部
社団法人高層住宅管理業協会九州地方支部
全国管洗浄更生協会
社団法人全国建築物飲料水管理協会福岡県支部
福岡県管工事業協同組合連合会
福岡県ペストコントロール協会
福岡ガラス外装クリーニング協会
福岡県ビル管理協同組合連合会